

第3回 沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画の改定等に係る有識者委員会

議事概要

1. 日 時：令和8年3月26日（木）14:00～16:00

2. 場 所：八汐荘 中会議室

3. 出席者：

—委員—（◎：委員長　○：副委員長）

神谷 大介 ◎ 琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース 教授

崎原 盛秀 サンライズ推進協議会 副会長／西原町 町長

照屋 勉 サンライズ推進協議会 会長／与那原町 町長

原 利一 株式会社プリプレス・センター DX 経営コンサルティング部 MICE マーケ
ティングマネージャー（元くにびきメッセ 誘致統括監）

淵辺 美紀 沖縄経済同友会 代表幹事／株式会社ジェイシーシー代表取締役会長

前田 博 ○ 前田博法律事務所 弁護士

宮国 英理子 株式会社りゅうぎん総合研究所 常務取締役

山本 牧子 MPI Japan Chapter 名誉会長／株式会社Finesse Hospitality Management
代表取締役

（欠席）

[五十音順]

—事務局及び業務受託者—

沖縄県、合同会社デロイトトーマツ

4. 議 題：

- (1) 第2回委員会における意見への対応方針について
- (2) 基本計画改定内容について
- (3) 事業収支と経済波及効果について
- (4) まちづくりビジョンの見直しについて

5. 配布資料：

- (1) 次第
- (2) 配席図
- (3) 参加者名簿
- (4) 本有識者委員会設置要綱
- (5) 資料1 第2回委員会における意見への対応方針
- (6) 資料2 基本計画改定内容について
- (7) 資料3 事業収支と経済波及効果について
- (8) 資料4 まちづくりビジョンの見直しについて
- (9) 別紙1 沖縄県MICEエリア形成事業基本計画
- (10) 参考資料 官民対話、次年度以降の進め方

6. 議 事 :

(1) 第 2 回委員会における意見への対応方針【資料 1】

- 委員からの追加意見なし

(2) 基本計画改定内容について【資料 2】

- 官民連携の取組として、「新技術等の実証・実装事業の実施」の記載がある。沖縄県は琉球大学や OIST を有しており、科学立県を目指せる状況と考えているため、官民のみならず「学」についても記載するべきではないか。
- イメージ図上でペDESTリアンデッキが長く見えるが、ホテルを海側に設置した場合を想定した図であることが要因である。ペDESTリアンデッキを前回同様の計画とするか、港湾側の駐車場を渡ったところまでとするかは今後検討する。
- 今回の基本計画改定では「展示場 10,000 m²程度、多目的ホール 7,500 m²程度」という記載としているが、公募段階の要求水準において「程度」または「以上」のどちらとするか検討する。特に展示場については 10,000 m²以上の面積を確保したいと考えており、要求水準書の作成時の反映を想定する。
- 本事業については、これまで展示場 30,000 m²という規模が大きすぎる点に議論が集中しがちであり、多目的ホールの規模はこれまで大きく取り扱われていなかった。本事業の多目的ホールは 7,500 m²であるが、パシフィコ横浜ノースよりも大きな多目的ホールである必要があるかと聞かれると微妙だが、5,000 m²では少し小さいように考える。少しアグレッシブな面積設定として、運営事業者の努力による催事確保の伸び代がある方が良くもしれない。
- 間仕切りについては福岡国際会議場の分割はすごく工夫されているように感じる。

(3) 事業収支と経済波及効果について【資料 3】

- 大型 MICE 施設としての収益のみならず、地域全体に経済波及効果があるプロジェクトであることを改めて感じている。今回、需要最大時と定常時での催事件数の考え方を整理したと理解したが、さらにプロジェクトの持続性を高めるため、MICE の閑散期を考慮した保守的なシナリオの設定もすべきではないか。
- 定常化 5 年とした背景は、昨年度から継続して実施している、新設から 5～6 年経過した MICE 施設運営者へのヒアリングを通して、定常化の時期は 5 年またはそれ以下との回答を得られていることである。ヒアリングを行った施設の規模は、大型 MICE と同規模またはそれ以上の規模の MICE である。

(4) まちづくりビジョンの見直しについて【資料 4】、

官民対話、次年度以降の進め方について【参考資料】

【情報・通信について】

- 産官学の催事誘致にあたっては、ネットワーク環境の整備が重視されるのではないかと。3～4 年程度前にリモートの催事誘致について検討したことがあるが、データセンターや電力供給によってネットワーク環境の優位性を確保するという案もあった。近年、スタジアムの整備や都市開発にあたってはネットワーク環境の整備が重視されてい

- る。まちづくりビジョンにおいてもネットワーク環境について記載すべきではないか。
- ネットワーク環境は MICE 運営・誘致に確実に必要である。周辺施設の利用を含め、規模の大きなネットワークを確保し、容量をひっ迫させないことが重要である。
 - MICE 施設では当然に Wi-Fi 整備が必要と考える。
 - 前回公告の要求水準書では、事業者エリア全体ではなく MICE 施設内の Wi-Fi 環境のみを求めている。エリア Wi-Fi については、県や地元自治体を含めた公共も検討すべきと考えている。スタジアムの事例では、PFI 事業のコンソーシアムの代表企業として通信事業者が参画している事例もある。エリアの通信環境についてヒアリングを実施することも考えられる。
 - 通信事業者はモバイル事業のみならず、観光施設の通信事業や指定管理事業など多角的な事業参画に意欲的である。本事業にも通信事業者はぜひ参画いただくべきと考える。

【人材育成について】

- 人材育成の観点で MICE 運営、実証実験の推進をどのように進めるかの記載をすべきではないか。
- ソフト面は学校・企業の誘致によってエリア発展がなされると感じている。まちづくりビジョンにおいて、ソフト面の充実について記載を追加してほしい。
- 人材については、昨年度実施した国際会議では、PCO だけでは英語を話すことができる人材確保が困難であった。人材育成によって、国際会議に対応できる人材を県内から輩出できるとよい。

【交通について】

- ここ 4 年間で急激にバス運転手が減少しており、連節バスも検討すべき内容になっていると考えている。連節バスは、直轄国道は通行可能であり、カーブなどの課題がなければ乗入れは可能である。一方で、バックができないため那覇バスターミナルでバスを展開させることはできず、那覇空港、那覇港、琉球大学病院などで折り返すことになる。これに関連して、人材、交通、情報通信については、MICE 振興戦略への記載やそれに紐づく大型 MICE の計画を策定できるような設計をすべきと考える。
- 沖縄振興計画（新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画）の 5 年の振り返り（中間見直し）が実施されていると認識しており、また並行して都市交通戦略の策定が進められているが、大型 MICE に限らず受入体制、人材、交通インフラ、情報・通信について計画に織り込むべきである。連節バスについては次年度検討を進めると聞いているため、その文脈を織り込むことが重要である。
- エリア内移動の自動運転については、国内で検討されている一番古典的な方法は電磁誘導線による自動運転であり、次いでダイナミックマッピングで自己位置の推定による運転であったが、世界の潮流としてはダイナミックマッピングに依拠しない方向に動いている。供用開始までにさらなる技術開発がされる中で、通信を活用したエリア内移動が提案される可能性は高いと考えている。

【周辺開発やエリアマネジメントについて】

- 報道でも MICE 供用開始スケジュールの記載があったが、ホテルや集客施設が併設されない場合にはMICE だけの運営収益確保は難しいのではないかと考えている。MICE 事業が進むことでホテル・収益施設事業も推進できることは理解しているため、供用開始時期を明示することはよいと考えている。
- MICE 単体での運営収益確保は可能であると考え。収益確保においては沖縄コンベンションセンター（以下、OCC）の方向性が重要である。例えば OCC を閉館するのであれば、それに伴う催事移転で大型 MICE は十分な稼働が見込まれる。一方で、大型 MICE 施設単体の収益を確保しても、ホテルや付帯施設が揃わない場合には、本エリアへお金が落ちないことを懸念している。本エリアにはマリーナがあるため、マリーナや海と相乗効果のあるエリアイメージの戦略が非常に重要である。
- 観光資源の強化が重要と感じており、マリンタウン MICE ではマリーナ含めて沖縄ならではの独自性を強めることがポイントと考える。観光面や、催事のない日にぎわい創出などの面でエリアマネジメントは重要性である。
- はじめから民間主導のエリアマネジメントは難しいので、はじめに公共と地元団体によるエリア協議会の立上げを検討している。次年度、まちづくりビジョンの改定を公表した後でエリア協議会を立ち上げることが想定される。
- 与那原マリーナ、宜野湾マリーナの公募については、港湾管理者がマリーナの実施方針案の公表を行っている。事業条件は示されているが、MICE 事業の方向性によって変更される点もあり、令和 15 年度の供用開始を示すことで、マリーナの実施方針公表までに整合を図りたい。

以上